

「科学技術振興機構における研究 費制度改善の進捗状況」

小 間 篤

(科学技術振興機構 研究主監)

JSTの戦略的創造研究推進プログラム

- ◆ ERATO 3 億円／年 20 課題
- ◆ CREST 1 億円／年 250 課題
- ◆ さきがけ
- ◆ ICORP
- ◆ SORST(発展研究)

実際の活動内容

- ◆ 書面調査（選考時及び各年次報告時）
正しく記載されている事を前提としているので、不実記載に対しては厳正な処置を執る。
- ◆ 書面調査の結果、必要に応じて訪問調査を行う。
- ◆ 書面・訪問調査の結果、研究費の増減を含む必要な勧告を、機構の戦略事業本部長に対して行う。
- ◆ プログラム調整室の業務は、監査ないし不正摘発を目的としたものではない。

書面調査

- ◆ 研究者の負担が多くなならないよう調査項目を精選
- ◆ 費目別（備品費、消耗品、人件費、旅費、その他）の研究費計画、購入予定の主要設備
- ◆ 他制度での助成状況（前年度、当該年度、次年度）
- ◆ 研究代表者と同じ研究実施場所における人員構成（教職員、博士研究員、大学院生）
- ◆ プログラム調整室による書面調査結果を研究総括に提供し、面接選考に資する。

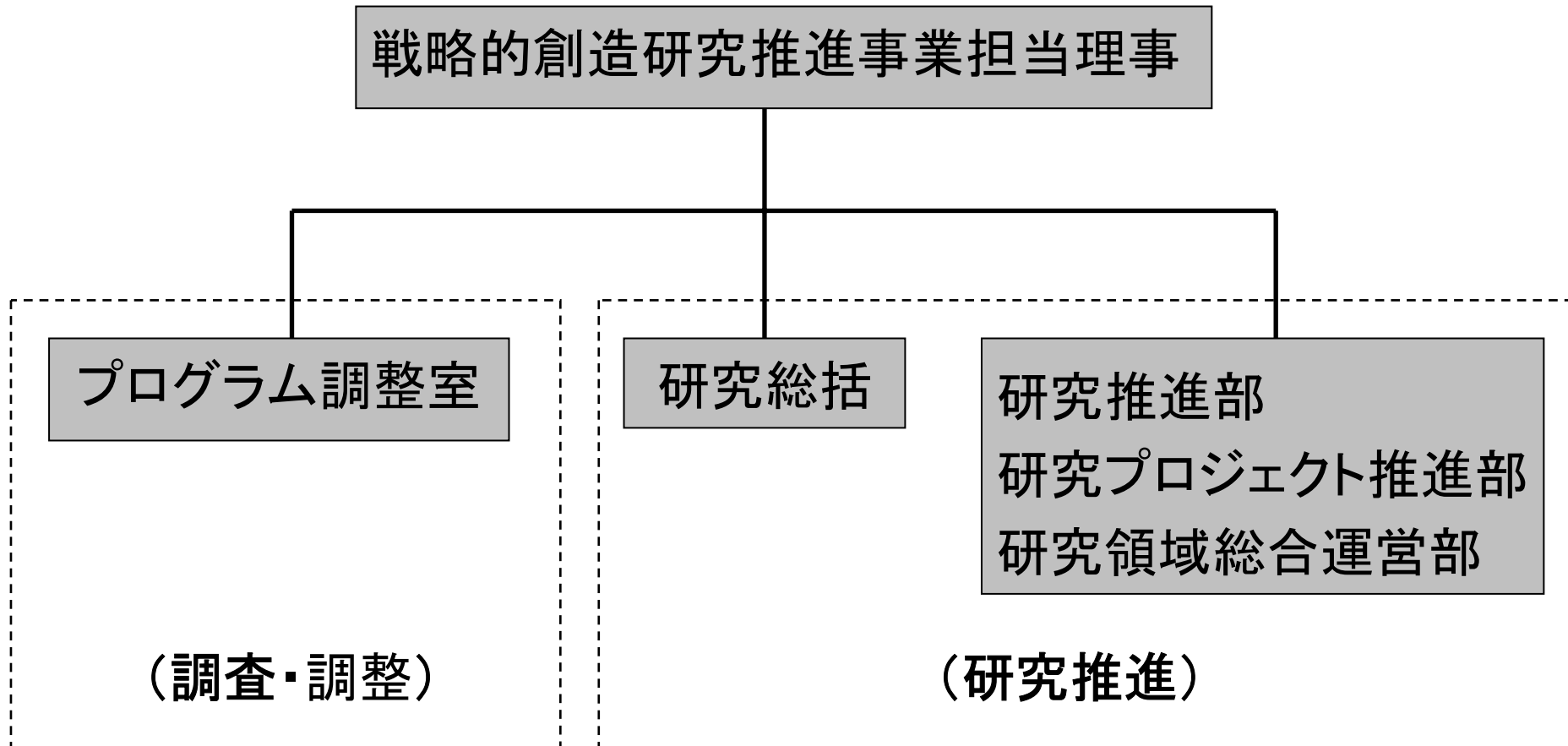
訪問調査

- ◆ 特筆すべき研究成果（学術上の貢献並びにイノベーションへの寄与）
- ◆ 他制度の助成金の受領状況及び仕分け
- ◆ 研究室見学
 - ー 主要設備の利用状況
 - ー 研究経費に見合う人員体制になっているか
- ◆ 研究費の使い勝手に関する注文、改善提案

プログラム調整室の体制

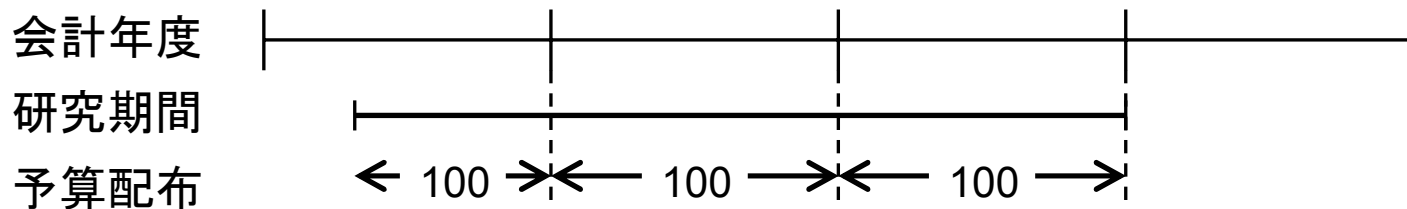
- 室長 小間 篤 (JST戦略創造事業研究主監
元東京大学副学長)
- プログラムオフィサー
 - 入江 正浩 (立教大学教授 九州大学名誉教授)
 - 帯刀 益夫 (東北大学名誉教授)
 - 白木 靖寛 (武蔵工業大学教授・総合研究所所長
東京大学名誉教授)
 - 本河 光博 (JST先端計測分析技術・機器開発事業
開発総括 東北大学名誉教授)

プログラム調整室の位置づけ

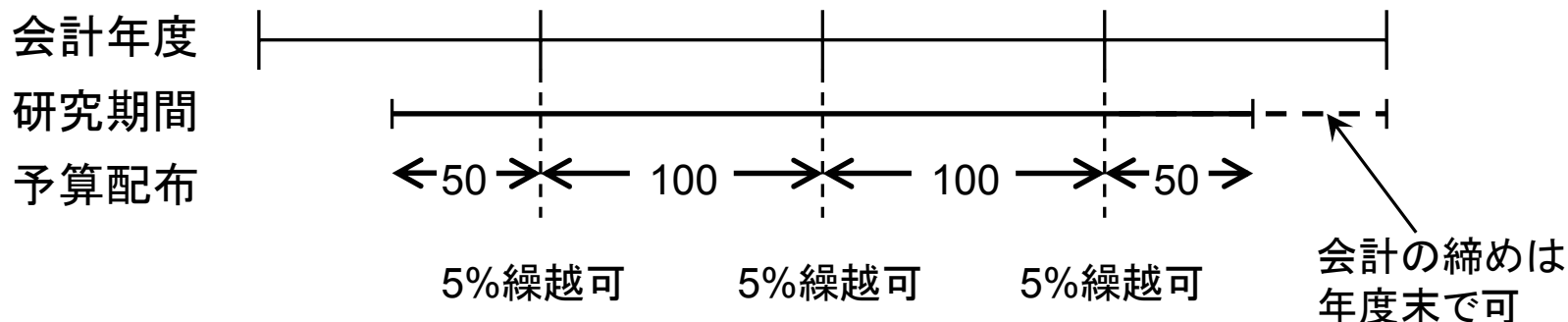


研究期間設定と予算執行形態 (研究期間3年、全予算300単位を仮定)

◆ 多くの競争的資金の場合



◆ JSTの場合



複数年度契約について

- ◆ 平成17年度から実施開始
- ◆ JSTならびに国立大学法人の中期計画期間をまたぐ契約は今のところできていない

合算使用について

- ◆ 基盤経費、委任経理金等、使途が規定されていない資金を、自己負担分として加算することは認めている
- ◆ 科研費等、他の競争的資金との合算は現時点では不可